

研究課題名	十二指腸腫瘍の臨床病理学的検討
研究責任者名	広島大学病院 消化器移植外科 教授 大段 秀樹
研究期間	2021年2月1日(倫理委員会承認後)~2029年12月31日
対象者	2006年1月から2026年12月の間に、広島大学病院消化器移植外科で十二指腸腫瘍に対する手術を受けられた患者さん。
意義・目的	<p>十二指腸腫瘍は稀な疾患で、その術式選択は腫瘍位置、良性か悪性であるか、悪性であればその進行度によって異なり定形化されていません。広島県内の医療施設の症例を広島臨床腫瘍外科研究グループHiSCOデータセンター集めることによって、十二指腸腫瘍の外科的治療を体系的に把握するとともに、腫瘍位置、病理、進行度に合わせた治療方針を検討するために、この研究を計画しました。</p> <p>広島臨床腫瘍外科研究グループHiSCOは、広島大学をはじめ広島県内の複数の外科施設から構成される特定非営利活動法人(代表理事:大段秀樹)であり、事務局およびデータセンターを広島大学構内に設置しております。</p>
方法	<p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、血液検査、切除術式、病理所見、成績(術中出血量、手術時間、術後合併症、術後在院日数、在院死、30日・60日・90日死亡、術後治療の有無、再発、予後)、などです。</p> <p>(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
共同研究機関	<p>安佐市民病院(小橋俊彦)、尾道総合病院(安部智之)、県立広島病院(濱岡道則)、東広島医療センター(大森一郎)、呉医療センター(尾上隆司)</p> <p>広島大学および共同研究機関で個人を特定できる情報を削除したデータは、HiSCOデータセンター(広島大学病院内)に集約し、解析します。</p>
試料・情報の管理責任者	<p>広島大学病院 消化器移植外科 教授 大段 秀樹</p>
問合せ・苦情等の窓口	

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5222

広島大学病院消化器移植外科 教授 大段 秀樹

準教授 小林 剛

研究機関：広島大学